

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

【課題】

- 福祉施設の設置状況等に地域差があり、個別の教育支援計画の活用による連携が不十分
- 特別支援学級や通級による指導の担当の経験値の少なさにより、各学校内で特別支援教育に関する専門性の観点からOJTが機能しづらい状況

【目的】

- 就学前から進学期、就労に至るまでの切れ目のない支援体制整備
- 広域的な地域支援のためのネットワーク形成
- 一人一人の子供の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- 高等学校における特別支援教育の充実及び通級による指導担当教員のネットワーク構築



成果

- 就学前から学齢期、就労、進学期に至るまで、医療、福祉、教育の連携を図りながら、子供一人一人の生活や学習において支援が充実する取組が進んだ。
- 令和3年度は、高等学校において個別の教育支援計画の作成率が令和2年度より約10%増加し、福祉や医療と連携した支援につながってきた。
- 特別支援学校高等部の就職指導や作業学習におけるアドバイスを重点的に行い、生徒の就職支援が充実した。

【今後の課題】

- 通級による指導の充実・拡大によって、個別最適化された学びの実現に向けた校内支援体制の充実や指導の工夫による授業づくり
- 有機的なネットワーク形成による、学校間等の日常的な連携

事業内容

* 高知県特別支援教育推進協議会

大学の教授、医師等に委嘱し、各専門分野から高知県教育委員会の施策等に関する意見を聴取することにより、課題解決に向けた具体的な方策について協議した。

* 通級による指導担当教員等専門性充実事業

通級指導教室設置校のネットワーク構築及び担当者の専門性の向上を図り、「通級による指導担当教員連絡協議会」を実施した。令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン研修とした。また、専門家チーム等の学校への派遣による支援等も実施した。

* 実践センター校を中心とした通級による指導の充実

高等学校における通級による指導、発達障害等への理解を深めるために、実践センター校を拠点に「高等学校における通級による指導担当教員連絡協議会」を実施した。令和3年度には「高等学校における通級による指導研究大会」を実施した。また、遠隔通信を活用して大学教員から助言を受けられることができるシステムを構築している。

* 外部専門家を活用した支援体制充実事業

保育園、幼稚園等、小中学校、高等学校における特別支援教育の推進体制整備、通常の学級に在籍する発達障害等特別な支援を必要とする幼児児童生徒について、外部専門家等で巡回相談チームを組み、学校等に派遣した。

* 特別支援学校就職サポート隊こうちの結成

地域の企業と特別支援学校、労働局などの支援機関をつなぎ、職業教育の充実及び就労支援の強化、卒業後の継続支援ができる環境づくりを目的として結成した。

高知県における特別支援教育の推進体制（令和3年度）

